

高校生の 200mL 初回献血者確保シミュレーション

1. 基本的な考え方

- ・血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、献血を推進するうえで 400mL 献血を基本とする。
- ・将来の献血推進の基盤となる若年層に対する献血推進が重要であることから、200mL 献血については、初回 16 歳男女、17 歳女性の高校生の献血推進を行う。

2. 高校生の 200mL 初回献血者確保について

- ・平成 23 年度 10 代献血率の目標数値である 6.0%（実績は 5.8%）を基にシミュレーションを行い確保を行う。
- ・平成 23 年度の実績（表 2）から高校生の初回 200mL 献血者（16 歳男女・17 歳女性）及び高校生の初回 400mL 献血者（17 歳男性・18 歳男女）の割合（10 代の献血者に占める割合：200mL 献血者 16 歳男女 9.0%、200mL 献血者 17 歳女性 4.6%、400mL 献血者 17 歳男性 4.5%、400mL 献血者 18 歳男女 15.8%）を算出し平成 23 年度の目標数（表 1）を設定した。

（表 1:平成 23 年度目標数）（人）

10 代 献血率	10 代 献血者数	10 代 総人口	高校生の初回献血者確保目標数						
			200m L 献血者			400m L 献血者			確保目標数
			16 歳男女	17 歳女性	計	17 歳男性	18 歳男女	計	合計
6.0%	293,340	4,889,000	26,401	13,494	39,895	13,201	46,348	59,549	99,444
			(9.0%)	(4.6%)		(4.5%)	(15.8%)		

（表 2:平成 23 年度実績）（人）

10 代 献血率	10 代 献血者数	10 代 総人口	高校生の初回献血者確保目標数						
			200m L 献血者			400m L 献血者			合計
			16 歳男女	17 歳女性	計	17 歳男性	18 歳男女	計	
5.8%	285,021	4,889,000	25,711	13,243	38,243	12,885	45,129	58,014	96,968
			(9.0%)	(4.6%)		(4.5%)	(15.8%)		

3. 平成24年度～平成26年度高校生の200mL初回献血者の確保目標

- 平成23年度の10代献血率の目標数値6.0%を基に平成26年度までの10代献血率の目標数値を増加率とし、それに合わせた高校生の200mL初回献血者を確保目標数とした。

(人)

	10代 献血率の 目標値	10代献血者 目標数	10代総人口	増加率	高校生の初回献血者確保目標数						
					200mL 献血者			400mL 献血者			合計
					16歳 男女	17歳 女性	計	17歳 男性	18歳 男女	計	
平成24年度	6.1%	294,691	4,831,000	100.5%	26,534	13,562	40,096	13,268	46,580	59,848	99,944
平成25年度	6.2%	299,336	4,828,000	101.6%	26,959	13,779	40,738	13,481	47,326	60,807	101,545
平成26年度	6.4%	307,264	4,801,000	102.6%	27,660	14,138	41,798	13,832	48,557	62,389	104,187

4. 平成24年度上半期における高校生の200mL初回献血者実績

- 平成24年度上半期における高校生の200mL初回献血者及び400mL初回献血者の実績を基に、上記3で設定した平成24年度の目標値に対し上半期の実績から下半期の確保目標数のシミュレーションを行った。

(人)

平成24年度 上半期 実績 (4月～9月)	200mL 献血者数			400mL 献血者数			合計
	16歳男女	17歳女性	計	17歳男性	18歳男女	計	
	10,220	5,644	15,864	4,924	25,694	30,618	46,482

(人)

平成24年度 下半期 確保目標数 (10月～3月)	高校生の200mL初回献血者確保目標人数								
				内訳：月別確保目標人数 (各血液センターにおける高校献血実施計画により按分)					
	16歳男女	17歳女性	計	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	16,314	7,918	24,232	5,743	5,743	5,670	3,731	2,666	679

5. 平成 24 年度の献血推進計画に基づき日本赤十字社が受入れる献血者数

(人)

平成 24 年度献血受入計画				高校生の 200mL 初回献血者確保数
200mL 献血者数	400mL 献血者数	成分献血者数	合計	
384, 387	3, 428, 118	1, 504, 049	5, 316, 554	40, 096 (10. 0%)

※参考：上記受入れ計画の 200mL 献血者数において、高校生の 200mL 初回献血者数が占める割合は約 10%となる。

6. 平成 24 年度の献血受入計画に係る若年層献血者確保対策

(1) 若年層全体に対する対策

若年層向けの雑誌、放送媒体、インターネット等を含む様々な広報手段を用いて、同世代からの働きかけ、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の声を伝える等、効果的な広報に努める。

(2) 高校生を対象とした対策

「高等学校学習指導要領解説 保健体育編」に献血に関する内容が盛り込まれたことから、これまで実施してきた若年層献血はもとより、献血のみならず、赤十字活動全体を含めた命の大切さ等についての献血セミナーを学校へ出向いて積極的に実施するよう努める。

(3) 採血基準の改正により、平成 23 年 4 月から男性に限り 400mL 献血が 17 歳から可能となったことを伝え、普及啓発に努める。

7. 平成 24 年度下半期に高校生の 200mL 初回献血者を確保する具体的な方策

(1) 献血セミナーの実施に係る広報資材（ポスター、チラシ等）の製作、県・教育委員会等との連携による学校へのアプローチを行う。

(2) メディア（JFN38 局を中心に地元ラジオや新聞各社・フリーペーパー等）を活用し、献血の現状（10 代・20 代が減少している事等）に関する情報を正確に伝える。

(3) 高校生ボランティア（JRC 等）の育成強化を行い、同世代からの推進を行う。

(4) 若年層に好まれる献血記念品の製作等を行う。

(5) LOVE in Action プロジェクトを基軸とし、全国学生クリスマス献血キャンペーン、はたちの献血キャンペーン等との連動した啓発を行う。

また、特に若年層に人気のあるアーティストやお笑い芸人に賛同いただき、ご当地イベントによる地方での啓発も併せて行う。

8. 高校生の200mL初回献血者確保に伴う、需要に見合う採血について

高校生の200mL初回献血者40,096名を確保することにより、医療機関の需要動向、在庫保有状況を勘案した場合に、若年層の初回献血者以外の200mL希望献血者に対して採血調整を行う可能性がある。

【参考】

- ・赤血球製剤の供給状況及び期限切について

(表1) 赤血球製剤の供給本数 (本)

	1単位供給数	2単位供給数	単位換算数
平成22年度	431,352	3,041,019	6,513,390
平成23年度	392,418	3,090,676	6,573,770

(表2) 赤血球製剤の期首在庫・製造・期限切本数

	1単位期首在庫と 製造本数の合計	期限切等の比率	2単位期首在庫と 製造本数の合計	期限切等の比率	単位換算数	期限切等の比率
平成22年度	451,628	2.1%	3,134,855	0.5%	6,721,338	0.6%
平成23年度	413,830	2.7%	3,169,293	0.8%	6,752,416	0.9%

※「期限切」は、血液センターの期限切、破損等の製品減損数

- ・赤血球製剤の使用用途について

赤血球製剤は、悪性新生物、血液及び造血器、循環器系や消化器系の治療に主に使用されている。